

《巻頭言》

「持続可能な社会」の形成に向けて

城西国際大学 環境社会学部長
鈴木弘孝

「持続可能な社会 (Sustainable Society)」とは、CO₂等の温室効果ガスの排出を抑制した「低炭素社会」、化石資源等有限な資源や枯渇の危機にある希少な鉱物資源の浪費を抑制し、循環資源の再利用・再生利用等により廃棄物の排出を抑制する「循環型社会」、人間も自然界を構成する一員として、生物多様性の保全に努め、多様な自然との均衡ある関係が維持される「自然共生社会」のそれぞれが、相互に有機的に関連しつつ、将来世代に環境の恵み、いわゆる生態系サービスが持続していく社会を指している。

環境社会学部では、「カリキュラムポリシー」において、「持続可能な社会形成の実現」に貢献できる人材の育成を「教育目標」として掲げ、社会環境及び自然環境という2つの方向から「持続可能な社会」を実現する知識・技術を学ぶために、学部教員の専門性を活かした教育と研究の実践に努めている。

本学部では、国際大学ならではのグローバルな教育環境の下、文系、理系の枠組みを超えた「統合的視点」に立ち、地球規模の環境問題等の課題解決のために、海外100余の姉妹大学との提携の下で、海外研修や留学を通じてグローバルな視野を培いつつ、地域との連携を重視した実践的なプロジェクト研究等に重きを置いてカリキュラムを構成している。このような実践的な「環境の学び」を通じて、環境に関する多様な要素技術を現実の社会に役立てること、いわゆる「環境の社会化」を通じて、「持続可能な社会」の形成に貢献できる『グローバル環境人材』の育成を目指している。

本学部の教育理念と目標に基づき、自然科学、人文科学の学問領域を越えた学際的な領域分野である「環境社会学」の研究をより深化させるため、本学部の研究成果を年度ごとにとりまとめた『城西国際大学環境社会学部紀要』を刊行している。今後、本学部の研究成果が、環境への負荷の少ない「持続可能な社会」の形成に寄与していくことを期待したい。